

みんなで描き、みんなでつなぐこのまちがキャンバスに

- まちを動かす、これからの庁舎とは -

参加費無料
申込不要

2025 年

5月30日(金) 会場 門真中町ビル(旧:松心会館)

15:00 ~ 多目的ホール

オープンプラットフォーム会議は、庁舎エリアのイメージを市民とともに描き、同じビジョンを抱く仲間を集め、庁舎エリアでやりたい活動、実現したい夢を叶えていくための公開型ミーティングです。

パネリスト



馬場 正尊

Open A 代表取締役
東北芸術工科大学 教授



忽那 裕樹

E-DESIGN 代表取締役
ランドスケープデザイナー



宮部 浩幸

SPEAC パートナー
近畿大学 教授



宮本 一孝

門真市長

プログラム

14:30 受付開始

15:00 開始

● 門真市庁舎エリア整備事業について (門真市)

10 分

● 話題提供

「まちを動かす、これからの庁舎の役割 (仮)」

50 分

(休憩時間 10 分)

● パネルディスカッション

50 分

17:00 閉会

会場案内



※会場の定員 80 名

定員を超えた場合、ご参加いただけないことがあります。

お問い合わせ

門真市まちづくり部 庁舎エリア整備課 担当: 福壽、里

電話: 06-6902-6379 Email: tos06@city.kadoma.osaka.jp

門真市庁舎エリア整備事業とは

庁舎エリア周辺では、防災性の向上や居住環境の改善を図るため市街地の再整備を進めてきましたが、「防災機能を有する公園の整備」及び「老朽化した市庁舎の建替え」が残された課題となっていました。庁舎エリアのめざすべき方向性などについて示した「門真市庁舎エリア整備基本構想」を令和5（2023）年6月に策定しました。

みんなで描き、みんなであつなく このまちがキャンパスに

を庁舎エリアのコンセプトに、このまちに関わる市民、事業者、団体、職員、みんながつながり仲間となって、新しい門真を思い描き、表現する場所をめざします。

門真市駅周辺エリア、古川橋駅周辺エリアなどのエリア形成とも連動し、ひとが集い、「人情味あふれる！笑いのたえないまち門真」の象徴となる場所をめざします。



パネリスト紹介

馬場 正尊 masataka baba Open A 代表／東北芸術工科大学教授

1968 年生まれ。早稲田大学大学院建築学科修了後、博報堂入社。2003 年 Open A を設立。建築設計、都市計画まで幅広く手がけ、ウェブサイト「東京 R 不動産」「公共 R 不動産」を共同運営する。近作に「佐賀城内エリアリノベーション」「泊まれる公園 INN THE PARK」など。近著に『テンポラリーアーキテクチャー：仮設建築と社会実験』『公共 R 不動産のプロジェクトスタディ：公民連携のしくみとデザイン』など。門真市駅・西三荘駅周辺エリアリノベーション未来ビジョン策定、Minahare Park-Fes などにも関わる。



忽那 裕樹 hiroki kutsuna ランドスケープデザイナー / E-DESIGN 代表取締役

1966 年 大阪府生まれ。1990 年大阪府立大学緑地計画工学講座卒業。2000 年 E-DESIGN 設立。公園、広場、道路、河川の景観・環境デザイン、およびその空間の使いこなし、さらには、その持続的マネジメント・しくみづくりを同時に企画・実施するという手法を駆使することによって、新しい公共を実現し、魅力的なパブリックスペースを創出することを目指し、数多くのプロジェクトを手掛けている。近作に「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト morineki」、「シーバスパーク」など。



宮部 浩幸 hiroyuki miyabe SPEAC パートナー / 近畿大学 教授

1972 年千葉県生まれ。東京大学大学院建築学専攻修了。北川原温建築都市研究所（設計業務）、東京大学建築学科助手（大学のキャンパス計画室兼務）、リスボン工科大学客員研究員を経て 2007 年 SPEAC,inc. に参画。建築の企画・デザイン及びリサーチを行う。2008 年ポルトガルでのリノベーションに関する研究により博士（工学）を取得。2015 年より近畿大学准教授、2021 年より近畿大学教授。古川橋駅周辺地区まちなかウォークラブル推進事業を手掛ける。



一言カード

あなたが思う、庁舎エリア、広場でやってみたいこと、実現したいことを自由にご記入頂き、当日会場までお持ち頂くか、メールでお寄せください。

当日のパネルディスカッションの中で、取り上げさせて頂く場合があります。